

アート・リサーチセンター活動記録

2001年度 (2002年1月～3月)

■乙女文楽座主催 京都公演(創設十周年記念公演 第一弾 新春御披露目) 協力

1月19日(土) 於. 京都市女性総合センターウイングス京都イベントホール

監修: 赤間亮[文学部教授]

■デジタル環境下の芸術公開研究会 シリーズ:制作現場からの証言 共催

□DVDソフト野村万作・萬斎「狂言でござる」の世界

1月31日(木) 於. ARC会議室

報告者:竹本幹夫[早稲田大学教授、早稲田大学演劇博物館副館長]、林和利[名古屋女子大学教授]、

宇田川東樹[東京メディアコネクションズ株式会社]

□アーティストは電気街で夢を見るか? ～メディアの時代における表現と美術館～

3月22日(金) 於. ARC多目的ルーム

報告者:安田篤生[原美術館 学芸統括]

□15秒に懸けた男たち ～CM創造への挑戦～

3月26日(火) 於. ARC多目的ルーム

報告者:田中彰治[ハイスピリット(株) 元代表取締役]

新井清久[(株)アド電通 元クリエイティブ局長]

小孫実[(株)アド電通 クリエイティブ室長]



■(財)片山家能楽保存財団主催 能と京舞～海士vs.珠取海女～ 制作協力

2月1日(金) 於. 京都芸術劇場「春秋座」(京都造形芸術大学内)

内容:能楽囃子と語り、映像による「大会」/京舞「珠取海女」/能楽「海士 懐中之舞」

■学術フロンティア公開研究会「情報の美学—デジタル・アーカイブの最前線」

2月13日(水) 於. ARC多目的ルーム

報告者:武邑光裕[衣笠総合研究機構チェアプロフェッサー/東京大学新領域創成科学研究科助教授]

■シンポジウム「モーションキャプチャーと舞踊研究」

3月1日(金) 於. ARC多目的ルーム

内容:主催者挨拶

招待講演「能の演技とモーションキャプチャーの効用」(片山清司

[京都観世会理事、(財)片山家能楽保存財団常務理事]/聞き

手:赤間亮[文学部教授])

特別講演「ゲームムービーにおけるモーションキャプチャーの最

新状況・実例の紹介」(福本隆司[(株)リンクスデジワークス 制作

担当取締役/プロデューサー])

セッション1:モーションキャプチャーの活用例

「モーションキャプチャーの舞踊教材への応用」(中村美奈子[衣笠総合研究機構ポストドクトラルフェ

ロー]、八村広三郎[理工学部教授])

「Webベースの対話型バレエ振付シミュレーション・システムの試作と評価」(曾我麻佐子[名古屋大

学博士後期課程]、海野敏[東洋大学助教授]、安田孝美[名古屋大学助教授])



「劇団わらび座におけるモーションキャプチャーの活用例」(海賀孝明[(株)わらび座Digital Art Factory Chief Engineer]、長瀬一男[(株)わらび座Digital Art Factory Chief Director])

「無形の文化財保護における可能性」(宮田繁幸[東京文化財研究所芸能部民俗芸能研究室室長])

セッション2:モーションキャプチャーによる身体動作分析

「舞踊譜Labanotationと身体運動データとの間の中間言語としての身体運動記述方法」(服部元史[神戸大学助手])

「動作データからの基本動作の抽出と相関ルールの発見」(森隆規[神戸大学大学院博士前期課程]、上原邦昭[神戸大学教授])

「リズムを用いた人体動作解析」(小島一成[近畿大学大学院博士後期課程]、広永美喜也[近畿大学助手]、長江貞彦[近畿大学教授])

「モーションキャプチャーによる日本舞踊動作の解析」(吉村ミツ[名古屋市立大学教授]、甲斐民子[名古屋市立大学]、服部清[名古屋市立大学]、横山清子[名古屋市立大学]、山本真輔[名古屋市立大学])

ディスカッション(コメンテーター:木村はるみ[山梨大学助教授]、安田静[日本大学講師])

主催:文部科学省科学研究費(地域連携推進研究費)「モーションキャプチャー技術による身体動作の分析・比較研究—3次元動画のデータベース化の研究開発—」、立命館大学アート・リサーチセンター

■公開研究会「野田秀樹の『パンドラの鐘』における風刺と諧謔」

3月11日(月) 於. ARC多目的ルーム

報告者:スタンカ・ショルツ・チョンカ[ドイツ・トリアー大学教授]

通訳・司会:池内靖子[産業社会学部教授]

■第5回 アート・リサーチセンタープロジェクト研究発表会

3月15日(金) 於. ARC多目的ルーム

報告:「マキノ・プロジェクトのアーカイヴィング」(富田美香[文学部助教授]、権藤千恵[文学研究科研修生])

「音源資料にみる邦楽の変遷」(松岡亮[文学研究科M2])

「舞踊記譜法とコンピュータテクノロジー」(中村美奈子[衣笠総合研究機構ポスドクトラルフェロー])

「藤井永観文庫所蔵品の紹介」(松本郁代[文学研究科D3])

「ゲーム的創造力の拡張と応用」(細井浩一[政策科学部教授])

「情報・知識のハンドリングとポスト・ブラウジング」(細井浩一[政策科学部教授])

「鑑賞者コミュニティによる協調的アーカイブ構築に関する研究」(稲葉光行[政策科学部助教授]、辻耕太[政策科学部3回生])



2002年度 (2002年4月~12月)

■NAHS&NELS プロジェクト合同公開研究会「セガの新規事業戦略とデジタルコンテンツ」

4月16日(火) 於. ARC多目的ルーム

講師:菅野聡之[(株)セガ 新規事業本部営業開発部長]、植村比呂志[(株)セガ 未来研究開発部課長])

■デジタル環境下の芸術公開研究会

「デジタル映像メディアの展開—DVDパッケージソフトとCG制作の現状—」

4月16日(火) 於. ARC多目的ルーム

報告者: 松井洋泰[京都府中小企業総合センター]

■イトー・タリー 京都パフォーマンス公演

5月9日(木) 於. ARC多目的ルーム

内容: パフォーマンス「恐れはどこにある」、フリーディスカッション

講師: イトー・タリー[パフォーマンスアーティスト]



■春季連続講演会

□「光峯の織物美術「錦の美～生成の芸術プロジェクト～」

5月31日(金) 於. ARC多目的ルーム

講師: 龍村光峯[織物美術家/(株)龍村光峯 代表取締役]

□「菓子から見た京都の伝統文化～見立の世界～」

6月7日(金) 於. ARC多目的ルーム

講師: 太田達[有職菓子御調進所「老松」 四代目]

□「根付彫刻の技法」

6月11日(火) 於. ARC多目的ルーム

講師: 駒田柳之[国際根付彫刻会会長]

□「和鏡作りの移り変わり～無形文化財・山本鳳龍の戦前・戦後」

6月19日(水) 於. ARC多目的ルーム

講師: 山本富士夫[(株)山本合金製作所 代表取締役社長]



■CM研究会「なにわのCM100選」

7月2日(火) 於. ARC多目的ルーム

■デジタル環境下の芸術研究会「舞台中継の現場—歌舞伎・舞踊の舞台撮影—」

7月8日(月) 於. ARC会議室

講師: 本領邦任[(株)アルファ映像ディレクター]

■乙女文楽座主催 神戸公演(創設十周年記念公演 第二弾 神戸初見世) 協力

7月14日(日) 於. シーガルホール(神戸文化ホール・小ホール)

監修: 赤間亮[文学部教授]

■第6回GAP学習会「もう一つのゲームアーカイブ—1990年以前からの業界人の記録」

7月31日(水) 於. 京都リサーチパーク4号館5階プロジェクトルーム

講師: 松原義継[佐賀大学学術情報処理センター]

■(財)片山家能楽保存財団 主催 第六回能装束・能面展(『能の絵本』出版記念)

8月1日(木)～3日(土) 於. 京都府京都文化博物館 6F

■デジタル環境下の芸術研究会「芸術的素材についての映像分析手法の基礎」

9月10日(火) 於. ARC多目的ルーム

講師: 水口薫[映画研究者]

■表象とジェンダー研究会 ローリー・トビー・エディソンによるスライド・

ビデオ&トーク「ヴァリエーションと共通性」

10月11日(金) 於. ARC多目的ルーム

講師: ローリー・トビー・エディソン[フォトグラファー]

司会: 池内靖子[産業社会学部教授]



通訳:佐藤真己[社会学研究科博士課程前期課程]

■ワークショップ「ドイツ工作連盟の再考察」

10月11日(金) 於. ARC多目的ルーム

講師:池田祐子[京都国立近代美術館主任研究官]

■展覧会「糸井文庫 浮世絵から ～彩られた丹後伝説」

10月12日(土)～10月20日(日) 於. 舞鶴市政記念館ホール

主催:舞鶴市、舞鶴市教育委員会

立命館大学アート・リサーチセンター

■秋季連続講演会

□「ライブ・パフォーマンス・アート—ウルトラモダン—」

11月1日(金) 於. ARC多目的ルーム

講師:アマンダ・ステッゲル[Motherboardディレクター]

□「映画技術の行方—デジタルとの融合—」

11月20日(水) 於. ARC多目的ルーム

講師:森田富士郎[撮影監督]

聞き手:森脇清隆[京都府京都文化博物館学芸員]

□無声映画上映会

「—無声映画、等持院に還る!—第三弾 甦るマキノ映画」

11月30日(土) 於. 以学館2号ホール

内容:映画上映『黒白双紙』『噫々牧野省三先生』

『祇園小唄 絵日傘 舞の袖』

澤登翠弁士による講演/聞き手:富田美香[文学部助教授]

弁士:澤登翠/楽団:カラード・モトーン

協力:(株)マツダ映画社、大阪プラネット映画資料館

□「映像のネクロフィリア」

12月6日(金) 於. ARC多目的ルーム

講師:上田高弘[文学部助教授]

■国際シンポジウム「ヘルマン・ムテジウスとドイツ工作連盟

—その歴史的な位置づけと現代的意義について—

11月2日(土) 於. 以学館2号ホール

内容:主催者挨拶

第1発表「ヘルマン・ムテジウスと‘近代の’アンチ多元論」(フェドール・ロート[アーヘン工科大学講師])

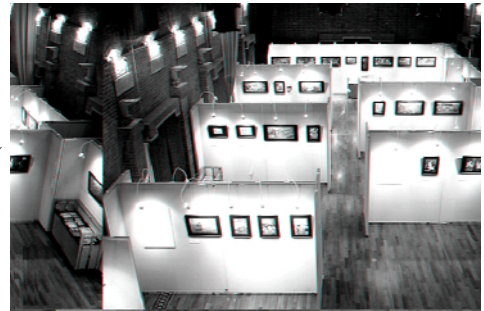
第2発表「ヘルマン・ムテジウスおよびドイツと英国の言説:1896-1905年」(ローリー・A・スタイン[ピューリッツァー財団美術館長])

第3発表「ポストモダン前史としてのドイツ工作連盟」(フレデリック・シュワルツ[ロンドン大学講師])

第4発表「再定義される生活世界—ドイツ工作連盟の1920年代」(田所辰之助[日本大学専任講師])
ディスカッション

司会・進行:鈴木博之[東京大学教授]

主催:京都国立近代美術館、立命館大学アート・リサーチセンター、立命館大学産業社会学会、関西ドイツ



文化センター

助成:ポニー美術振興財団

■財団法人藤井永観文庫展「天皇の書―鎌倉時代から江戸時代―」

11月11日(月)～11月29日(金) 於. ARC閲覧室

■第6回アート・リサーチセンタープロジェクト研究発表会

11月5日(火) 於. ARC多目的ルーム

発表:「草双紙出版の一側面―糸井文庫本『義経千本桜』を中心に―」

(齊藤千恵[文学研究科D4])

「洗心寺(ロサンゼルス)における歌と踊り」(ウェルズ恵子[文学部助教授])

「能のCGアーカイブについて」(小島一成[衣笠総合研究機構ポストドクトラルフェロー])

「情報の操作感とインタフェース」(細井浩一[政策科学部教授]、三浦英臣[政策科学部4回生])

げーむぶらぶら

■game++4

11月22日(金) 於. 京都リサーチパーク1号館4Fサイエンスホール

内容:オープニングスピーチ(山下晃正[京都府商工部産業活力支援室室長])

基調講演「ゲーム立国韓国を目指す道」(キム・ドンヒョン[韓国ゲーム総合支援センター初代所長、世宗大学教授])

パネルディスカッション『ゲーム人材育成』(キム・ドンヒョン[韓国ゲーム総合支援センター初代所長、世宗大学教授]、片岡宏一郎[経済産業省商務情報政策局課長補佐]、松浦季里[(株)七音社 CGクリエイター]、新清士[IGDA東京 コーディネーター/メディアライター] / 司会:細井浩一[政策科学部教授])

モデレーター:細井浩一[政策科学部教授]

主催:京都府、(財)京都産業21、京都リサーチパーク、立命館大学アート・リサーチセンター

共催:立命館大学大学院先端総合学術研究科、IGDA東京

後援:近畿経済産業局

■乙女文楽座主催 大阪公演(創設十周年記念公演 第三弾 千秋楽) 協力

11月30日(土) 於. 国立文楽劇場小ホール

監修:赤間亮[文学部教授]

■鳴滝乾山窯跡発掘調査速報展

12月9日(月)～12月20日(金) 於. ARC閲覧室

主催:法蔵寺鳴滝乾山窯址発掘調査団

立命館大学アート・リサーチセンター



